

一般社団法人日本光学会の活動の現状と計画について

日本光学会は2014年9月に一般社団法人として登記し、2015年1月からの始動を目指して、4か月間にわたり、事業計画、予算計画、会員管理、ならびに各種規則の整備を行ってきた。この間、会員の皆様には大変ご迷惑とご心配をおかけしたことを、まずはお詫び申し上げます。

記念すべき国際光年の2015年に第44巻1号を会員各位にお届けするにあたり、学会の現状と活動計画について簡単にご報告する。

日本光学会の組織図を図1に、理事会の構成と担当業務を表1に示す。2015年からの2年間、新学会の運営がすみやかに軌道に乗るように全力を傾ける所存である。

事業計画を表2に示す。主たる事業としては、会誌「光学」は本年1月より従来通り毎月発行、欧文学術誌「Optical Review」は本年2月より隔月に発行する。特に、「Optical Review」は電子版となり、より速報性を重視して、採択から短期間でホームページにアップロードされる Online-First 形式を採用した。学会ホームページも充実を図り、会員への情報発信の場として、より活用していただけるようにする。Optics & Photonics Japan (OPJ)、冬期講習会、

光学シンポジウムの実施もこれまで通りであるが、OPJにおいては従来のプログラムに加え、若手人材の育成の場として「光学セミナー」の開講を企画している。また、国際交流の促進に重点を置き、アメリカ光学会 (OSA)、アメリカ光工学会 (SPIE)、欧州光学会 (EOS)、台湾光学会 (TPS)、韓国光学会 (OSK)、中国光学会 (COS) と MOU を調印した。なお国際会議の主催などについては表2を参照されたい。

表3に予算計画を示す。計画は会員数700名を想定して立案している。特に、研究グループの活動の活性化を支援するための助成金、国際会議補助などの国際交流事業の促進のための国際協力支援金、研究の促進と啓蒙のための光学論文賞、日本光学会奨励賞ならびに OPJ 優秀講演賞等の表彰事業を予算に計上している。

会員の皆様には引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

(日本光学会会長 黒田和男)

表1 一般社団法人日本光学会 理事および委員会。

役職	担当	氏名	委員会
代表理事	会長	黒田 和男	
代表理事	総務	伊藤 雅英	総務委員会
代表理事	総務	谷田 純	国際交流事業委員会 光学論文賞選考委員会 日本光学会奨励賞選考委員会 コニカミノルタ光みらい奨学金選考委員会 地方支部運営委員会
理事	会計	山口 進	会計委員会
理事	総務	福田 隆史	総務委員会
理事	出版	岩井 俊昭	出版委員会 「光学」編集委員会 「Optical Review」編集委員会
理事	大会・講演会	志村 努	Optics & Photonics Japan 運営委員会 光学シンポジウム実行委員会 冬期講習会実行委員会 地方講演会実行委員会
理事	渉外	宮前 博	広報委員会
理事	広報	小倉 裕介	広報委員会 ホームページ管理委員会
理事	事業	早崎 芳夫	事業企画委員会 研究グループ運営委員会

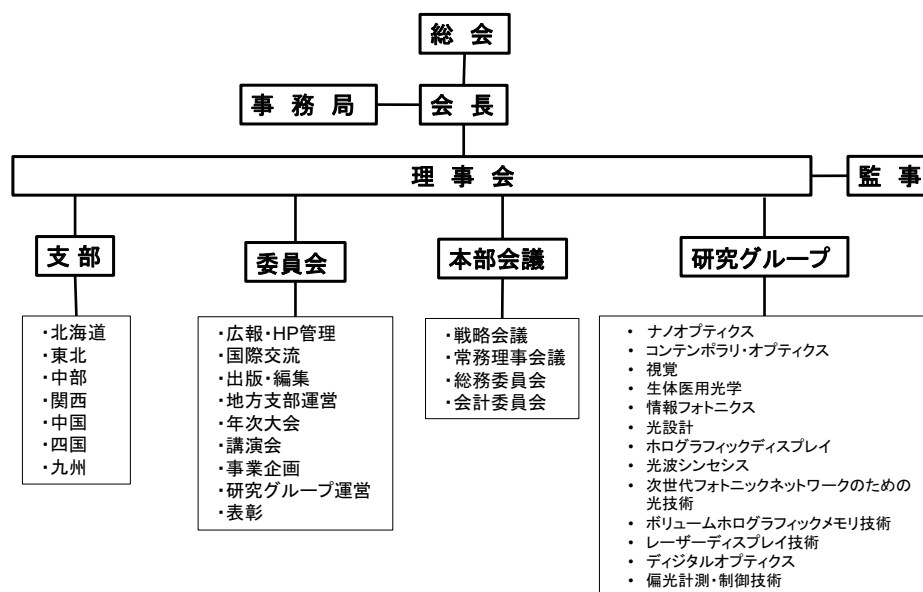


図1 一般社団法人日本光学会 組織図.

表2 一般社団法人日本光学会 2015 年度事業計画.

事業	事業計画	日時
1. 会誌の発行	「光学」 Vol. 44, No. 1 ~ No. 12	毎月 10 日発行
2. 欧文誌の発行	「Optical Review」 Vol. 22, No. 1 ~ No. 6	偶数月 1 日発行
3. 表彰・奨励金の授与	光学論文賞 日本光学会奨励賞 OPJ 優秀講演賞 コニカミノルタ光みらい奨励金	
4. 講演会・講習会	設立記念シンポジウム 冬期講習会 光学シンポジウム Optics & Photonics Japan 2015 第 2 回技術者と学生のための光学セミナー 関西講演会 光学五学会関西支部連合講演会	2015 年 1 月 16 日 2015 年 1 月 22 日 ~ 1 月 23 日 2015 年 6 月 25 日 2015 年 11 月 4 日 ~ 11 月 6 日 2015 年 11 月 3 日 (予定) 2015 年 11 月 (予定) 2015 年 11 月 (予定)
5. 国際会議	Laser Display Conference (LDC) Optical Manipulation Conference (OMC) Conference on Asia-Pacific Biomedical Photonics (APBP) Workshop on Information Optics (WIO) Asia Pacific Nano Fabrication and Optics (APNFO) Japan-Korean Workshop on Digital Holography and Information Photonics (DHIP) OSJ-SPIE Joint Symposium International Workshop on Holography and Related Technologies (IWH) International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication (ODF) International Conference on Near-Field Optics, Nanophotonics, and related Techniques (NFO)	2015 年 4 月 22 日 ~ 4 月 24 日 2015 年 4 月 22 日 ~ 4 月 24 日 2015 年 4 月 22 日 ~ 4 月 24 日 2015 年 6 月 1 日 ~ 6 月 5 日 2015 年 7 月 7 日 ~ 7 月 10 日 2015 年 9 月 17 日 ~ 9 月 19 日 2015 年 11 月 1 日 ~ 11 月 2 日 2015 年 12 月 1 日 ~ 12 月 3 日 2016 年 2 月 28 日 ~ 3 月 2 日 2016 年 9 月 4 日 ~ 9 月 8 日
6. 研究グループ	ナノオプティクス, 光波シンセシス, コンテンポラリー・オプティクス, 視覚, 生体医用光学, 情報フォトニクス, 光設計, ホログラフィックディスプレイ, 次世代フォトニックネットワークのための光技術, ポリウムホログラフィックメモリ技術, レーザーディスプレイ技術, デジタルオプティクス, 偏光計測・制御技術	
7. 理事会・委員会	総会 理事会 「光学」編集委員会 「Optical Review」編集委員会 「Optical Review」出版委員会 光科学および光技術調査委員会 (関東) 光科学および光技術調査委員会 (関西)	1 回 3 回 6 回 1 回 1 回 1 回 1 回

表3 一般社団法人日本光学会 2015年度予算計画。

〈収入の部〉

科 目		予 算	おもな内容
事務局運営費収入	会費収入	7,640,000	
事業収入	講習会, 講演会収入	10,300,000	冬期講習会 / OPJ / 光学シンポジウム / セミナー
	会誌出版収入 「光 学」	1,500,000	広告料収入 / 別刷代収入
	会誌出版収入 「Optical Review」	5,660,000	購読料収入 / 投稿料収入
事業活動収入合計		25,100,000	
収入合計		25,100,000	

〈支出の部〉

科 目		予 算	おもな内容
会誌出版事業費	「光 学」	6,945,000	印刷製本費 / 郵送費 / 業務委託費 / 諸経費
	「Optical Review」	180,000	電子版システム費
表彰事業費		955,000	
講演会, 講習会事業費		9,020,000	冬期講習会 / OPJ / 光学シンポジウム / セミナー
国際協力支援事業費		1,000,000	
研究助成事業費		550,000	研究グループ補助金
事務局運営費 (含 幹事会)	諸経費	5,480,000	業務委託費(会員会費管理 / Web管理) / 会計士委託費 / 旅費交通費 / 臨時雇賃金 / 通信運搬費 / 会議費 / 雑費
その他諸経費		970,000	法人登記費 / 業務委託費(会員会費管理システム立上げ / Web立上げ) / 事務用品費
事業活動支出合計		25,100,000	
支出合計		25,100,000	
当期収支差額		0	

日本光学会 2014 年度第 1 回常任幹事会

日 時： 2014 年 9 月 24 日(水) 13:50~16:00

場 所： 応用物理学会 6 階会議室

参加者： 梅田幹事長, 他 18 名

議 事：

1. 審議事項

1-1. 新分科会(フォトンクス分科会)の活動の承認について

- ・新分科会の将来ビジョン, 名称(フォトンクス分科会), 活動内容(フォトンクスシンポジウム, 国際会議の共催など), 運営組織などが確認された。機関誌として「フォトンクスニュース(仮)」を創刊し, 「光学」「Optical Review」の発行は一般社団法人日本光学会に移行され, 新分科会からは発行しないことが確認された。

1-2. フォトンクス分科会規程素案の承認について

- ・フォトンクス分科会規程素案が示され, 第 6 条第 7 項は議論の結果削除された。

1-3. フォトンクス分科会予算案

- ・フォトンクス分科会予算案が示された。

1-4. 研究グループの移行について

- ・研究グループの一般社団法人日本光学会への移行について確認がなされた。

1-5. 冬期講習会ポスター案について

- ・第 41 回冬期講習会(2015 年 1 月 22 日~23 日)のポスター案が示された。ポスター案の「日本光学会(応用物理学会)主催」を「日本光学会・応用物理学会フォトンクス分科会共催」へ変更することが確認されたが, 今後, フォトンクス分科会の動向により変更もありうることを確認された。

1-6. 奨励賞賞金について

- ・メキシコ在住の奨励賞受賞者(Optical Review)への賞金の送金について議論され, 送金が困難なため送金を取り止めることが確認された。賞状は郵送することが報告された。

1-7. 「Optical Review」の委託違約金について

- ・一般社団法人日本光学会の設立が 7 月に決定したため, 「Optical Review」の印刷・発送業者との契約停止

が必要になったが、1年前に解約しないと違約金が発生することが報告された。違約金への対処として、日本光学会とフォトニクス分科会との共同出版という形式や、弁護士と相談することが提案された。引き続き議論する。

2. 第204回幹事会議事録の確認

- ・議事録が承認された。

3. 報告事項

3-1. 「光学」関連報告

- ・第43巻第6号および第7号の経費について説明があり、予算の執行状況は問題がないことが報告された。来年1月発行の号には、新法人設立の経緯や将来ビジョンなどが執筆される特集記事が10ページ加わる予定であることが報告された。

3-2. 「Optical Review」関連報告

(1) 国際協力支援金による支援決定報告

- ・イランの著者の論文について国際協力支援金による支援が決定したことが報告された。

(2) 創刊20周年記念特集号の招待論文について

- ・高野基金を利用して、9編の招待論文と「光学」掲載の解説2編がVol. 21 No. 6 (創刊20周年記念特集号)に掲載されることが報告された。

4. 講演会関連報告

4-1. 第39回光学シンポジウム開催報告

- ・第39回光学シンポジウムの最終決算が報告された。参加人数は253名で収支は黒字となった。

4-2. Optics & Photonics Japan 2014 進捗報告

- ・会場が教育目的の施設であり17時半から講義が始まるため、この時間までにすべての発表を終わらせる必要がある。そのため例年よりも発表時間は短く、発表時間12分、質問5分に抑えた。基調講演、特別講演、シンポジウム、一般講演のプログラムが報告された。

5. その他報告事項

5-1. 収支計算書について

- ・2014年1月1日から8月31日までの収支が示され、収支は良好であることが報告された。

5-2. 日本光学会奨励賞進捗報告

- ・日本光学会奨励賞の受賞者が2名確定し、11月6日のOPJ 2014で授賞式および記念講演が行われる旨、報告された。

5-3. 光学論文賞報告

- ・11件の推薦があり、10月に選考委員会を開催し、11月の幹事会で内定結果を報告する予定であることが報告された。

5-4. その他

- ・光設計研究グループ第55回研究会, LDC 2015, IDW '14, APNFO-10の案内が報告された。

第40回光学シンポジウム講演募集「光学システム・光学素子の設計、製作、評価を中心として」

主催：一般社団法人日本光学会

共催：公益社団法人応用物理学会

期日：2015年6月25日(木)、26日(金)

場所：東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール (東京都目黒区駒場 4-6-1)

詳細は本号裏表紙のご案内、またはホームページ http://myOSJ.or.jp/event2/opt_symp をご覧ください。

第16回レーザーディスプレイ技術研究会「レーザー照明・ディスプレイを新たな段階へ発展させるデバイス技術と新応用」

日時：2015年2月25日(水) 13:00~17:00

場所：東京大学生産技術研究所コンベンションホール (〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1) 京王井の頭線駒場東大前駅より徒歩10分、小田急線東北沢駅より徒歩10分、小田急線・千代田線代々木上原駅より徒歩15分、地図 <http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/map/index.html>

主催：一般社団法人日本光学会レーザーディスプレイ技術研究グループ

協賛：レーザー学会レーザー照明・ディスプレイ(LLD)専門委員会

後援：オプトロニクス社

プログラム：①「イントロダクトリートーク」黒田和男(宇都宮大)、②「青色・緑色半導体レーザーの開発の現状」柁井真吾(日亜化学工業)、③「赤色高出力LD(仮)」(三菱電機)、④「車載ヘッドアップディスプレイや小型プロジェクターに用いる超小型・高性能MEMSミラー」瀧本貞治(浜松ホトニクス)、⑤「ナノダイヤモンドを用いた透明スクリーン」坂尻浩一(東工大)、⑥「レーザプロジェクタの色度安定化の技術」大木佑哉(日立製作所)、⑦「ファイバー照明用ファイバ：Fibranceとレーザー光源を組合せた照明用途への展開」香川康之(コーニング)、⑧「最先端可視光半導体レーザー応用基盤整備プロジェクト」山本和久(大阪大)、⑨「クロージングリマーク」山本和久(大阪大)

参加費：一般4,000円、学生1,000円(税込)。当日会場にてお支払いください。領収書を発行します。終了後簡

単な情報交換会を予定しています(無料).

参加申込: 要. E-mailにて, 山本和久(大阪大) yamamoto-k@ppc.osaka-u.ac.jp まで.

プログラムは研究グループのホームページでもご覧いただけます. <http://qopt.iis.u-tokyo.ac.jp/ldt/>

光設計研究グループ第56回研究会「光学材料と成形加工技術」

日時: 2015年2月27日(金) 10:20~17:15

場所: キャンパスプラザ京都(〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939)

主催: 一般社団法人日本光学会光設計研究グループ

プログラム: ①「車載用途向け/光学用ポリカーボネート樹脂の技術動向」広野正樹(三菱エンジニアリングプラスチック), ②「アクリル樹脂における光学特性及び性能の向上」岡藤宏(三菱レイヨン), ③「スマートフォン用カメラレンズの成形加工」助田直史(住友重機械), ④「高屈折率かつ低複屈折の光学プラスチックレンズ樹脂アペル®」添田泰之(三井化学), ⑤“Fast Non-contact 3D Form Measurement: LUPHOScan” Jürgen Petter (Ametek Taylor Hobson - Lumphos BU), ⑥「紫外線を約99%カットしながら不快なジリジリ感も抑える自動車用強化ガラス: “UV verre Premium Cool on”」猪熊久夫(旭硝子), ⑦「ポ

リ乳酸を用いたディスプレイ用反射シート」高木潤(三菱樹脂), ⑧「応力発光印刷の現状と展望」青山祐子・前川博一(大日本印刷)

参加費: 光設計研究グループ個人会員 4,000円, 光設計研究グループ学生会員 無料, 一般 10,000円, 日本光学会会員 8,000円, 学生一般 2,000円, 日本光学会学生会員 1,000円. 当日, 受付にてお支払いください.

定員: 150名(定員になり次第締切)

参加申込: 氏名(フリガナ), 所属, 住所, 電話, Fax, E-mail, 参加区分(参加費参照), 懇親会(無料)参加の有無を, E-mailまたはFaxまたは郵送にて下記申込先までお送りください.

申込先: コニカミノルタ(株) 開発統括本部第2技術開発センター第21技術開発室 川崎貴志

〒192-8505 東京都八王子市石川町2970

電話 080-9367-6740

E-mail k56reg@opticsdesign.gr.jp

問合せ先: 三菱レイヨン(株) 大竹研究所機能材料研究グループ 入江菊枝

〒739-0693 大竹市御幸町20-1

電話 0827-53-8507 Fax 0827-53-8515

E-mail k56@opticsdesign.gr.jp

ホームページ <http://www.opticsdesign.gr.jp/>

日本光学会 news の掲載申込先:

〒400-8511 甲府市武田4-3-11 山梨大学工学部情報メカトロニクス工学科 金 蓮花

電話/Fax 055-220-8448 E-mail lianhua@yamanashi.ac.jp

なお, 掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで, 開催日が1~10日の場合は, 開催日の3か月前の15日までをお願いします.

掲載にあたっては, 「日本光学会 news」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください.